

# さくらの下でハイ、チーズ



4月5日、北小校庭にて



第686号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (4月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,356人  
 女 3,393人  
 総人口 6,749人  
 世帯数 2,145戸

## 南小学校・北小学校で入学式

# 眩しい我が子

四月五日に、豊丘南小学校・北小学校にて、入学式が行われ、南小四十九名、北小二十一名が、桜咲き誇る中、新たな門出を迎えた。

南小学校保護者代表  
 松下 浩典

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

今日から始まる学校生活を楽しくするために、これから六年間、たくさん勉強をしましょう。たくさん遊びましょう。そしていろいろなことにチャレンジしましょう。みなさんが成長していく姿を楽しみにしています。

先生方、子どもたちには是非いろいろなチャレンジさせてください。きつとたくさん失敗することも多々あるかと思いますが、その中で子供たちが自ら考え、経験をを通して成長してくれる

ことを心より願っています。どうか温かいご指導のほどよろしくお願いいたします。そして、子どもたちが成長するに当たり大切な六年間を、楽しく安心して過ごせるようにするために、先生方をはじめ、地域の皆様、私たち保護者、この三者がしっかりと協力していくことが重要だと思っております。どうぞ皆様のご尽力を賜りますようお願いいたします。

北小学校保護者代表  
 菅 太樹

最後にとなりましたが、在校生のお兄さん、お姉さん、一年生のお友達が困っていたら、優しく声をかけて助けてあげてください。どうぞよろしくお願いいたします。

二年生から六年生のみなさん、一年生のみなさんはこ



新1年生、緊張の1日目(南小)

とりおこなっていたいただき、校長先生はじめ諸先生方ならびにご来賓の皆様、心より感謝申し上げます。

今日この日を迎えることができ、保護者としてもしっかりと見守り応援し、先生方や地域の皆様と協力していく所存でございます。

親子共々これからスタートする学校生活に期待も大きな一方で、わからないことも多く不安な気持ちもあります。

これから六年間どうぞよろしく願い申し上げます。

## 教育長が交代 元気のもとには公民館から

### 次世代を創る 教育行政

新教育長  
 昼神 毅



本年四月一日から豊丘村教育長を拝命いたしました昼神でございます。もとより浅学非才の身ではありますが、教育長という大役を皆様方に教える

ただながら努めてまいりたいと存じます。村の人口は残念ながら減少傾向にあり、少子化も進みつつありますが、「豊丘の子どもは豊丘村の皆で育てる」という豊丘村コミュニティスクール理念にもあるように、村政の重点施策として子育て支援を掲げ、乳幼児や保育園、小中学校、高校生等に対して村の財政的援助や各種のソフト事業を展開し、豊丘村の未来を担う世代を育てております。

### 豊丘の明日を拓く子らと共に

前教育長  
 寺沢 宜勝



この度、三年間の任期を終

生涯学習の充実の必要性が増しており、皆さんの参加を広く募集する中で、時代に即した生涯学習を進めてまいりたいと考えております。

え、退任いたしました。教育委員会制度が大きく変革する中、新制度による教育長としての重大な舵取りを任せられましたが、村民の皆様が力強いお力添えにより、なんとかその任を果たすことが出来ました。皆様方に感謝あるのみです。教育委員会が学校教育だけでなく、広く子育て支援全般を担う部門として衣替

え、退任いたしました。教育委員会制度が大きく変革する中、新制度による教育長としての重大な舵取りを任せられましたが、村民の皆様が力強いお力添えにより、なんとかその任を果たすことが出来ました。皆様方に感謝あるのみです。教育委員会が学校教育だけでなく、広く子育て支援全般を担う部門として衣替

## 段丘

女性のみなさんは母親になつてから言われたことはいらないだろうか。「今が一番いい時」。それは大抵子育てが大変だと、私がぐちを言った時、少し年上の女性や九十過ぎの女性からもかけられる言葉だ。あまりに多くの人が同じ言葉を聞くので、皆が裏でつながっているのではないかと疑ってしまう。そういう私も、我が子より小さな子を持つ女性に対して同じセリフを言ってしまう。これはもはや、女性に代々伝わる子育ての秘伝として大昔から永遠に続いているものなのかもしれない。「今が一番いい時」の後は大抵少し後悔が入り混じった声で、「だから今の内にしっかりと子どもをみてあげて」と続く。子育ての先輩方が、自分の子育てを振りかえって幼い母親達をばげましてくれている。このはげましのパトンの言葉は次の幼い母親達へとわたされていく。未来を悩み、過去を振りかえりながらいると大切な「今」が全く存在していないと思える時が多々ある。子どもの「今」を見て、日々の小さな幸せを味わうような子育てをしてみたい。決意するにはちようどいい季節だ。子育ての先輩方ははげましてくれている。少し秘伝の言葉に心を傾けてみようかな。(小池淳子)

# 村の小中学校教職員異動

## 学校に新たな息吹

### 転出・退職

◆南小学校  
青森 隆俊  
奈川小（松本市）へ

唐澤 譲 鼎中へ

山本 豊 用務員

近藤 朝子 上村小へ  
小布施利恵子 泰阜小へ  
北原 和世 上郷小へ  
齊藤 圭子 追手町小へ  
岡本 恵子 松尾小へ  
篠田 淳 阿智第三小へ  
赤羽 翠 開明小（松本市）へ  
伊藤 景子 川上第二小（川上村）へ  
熊谷 由子（退職）  
◆北小学校  
大藏 和幸（退職）  
宮澤 剛 座光寺小へ  
藤木 律子 山本小へ  
夏目 昌典 木祖小（木祖村）へ

◆南小学校  
宮澤 咲子 高森南小へ  
◆中学校  
溝上 正弘（退職）  
松尾 恵子（退職）  
木下 真澄（退職）  
田中 良 飯田市美術博物館へ

◆南小学校  
久保田俊也 田中小（東御市）より  
唐沢 美子 高森南小より  
高階 広宣 大下条小より  
築島 由美 喬木第二小より  
塩澤みちよ 喬木中より  
大江 歩 浜井場小より  
都富 浩貴 富草小より  
中村友香理 新規採用  
山本 豊 用務員

### 転入

◆南小学校  
久保田俊也 田中小（東御市）より  
唐沢 美子 高森南小より  
高階 広宣 大下条小より  
築島 由美 喬木第二小より  
塩澤みちよ 喬木中より  
大江 歩 浜井場小より  
都富 浩貴 富草小より  
中村友香理 新規採用  
山本 豊 用務員

◆北小学校  
大平 亮治 岡田小（松本市）より  
森谷 淳子 上郷小より  
矢澤小百合 丸山小より  
後藤 俊治 松尾小より  
◆南小学校・北小学校  
大平 裕美 豊丘北小・南小と兼務  
南波 洋子 豊丘北小・南小と兼務  
◆中学校  
牛越 雅紀 中信教育事務所より  
濱島 保 阿南第一中より

# リニアの声

## 第20回

### リニア新幹線に想う

八王子 毛涯百合子

「リニアの新幹線が豊丘村を通るんだって」、この言葉に私たちが年とった者も胸踊るものがありました。会合で集まれば必ずリニアの話が出ましたが、その中で「通るだけでは豊丘村にはプラスにならないね」「それまで生きとれるかなあ」などと話は弾んだものです。私も本当に、リニアが豊



林道法面の落石対策

丘村にとってプラスになるのか？、リニアが村にもたらすものは何か？、考えれば考えるほど大変なことだと思ってしまう。地域課題や観光対策などをめぐっても、様々な考えがあり、そんな議論を乗り越えて行くこと全てが大変だと思えます。未来がなくては豊丘村は存在しないと思えますが、プラス思考で村を

戦後の何もない時代を過ごしてきた人間にとっては、リニアは夢物語そのものの世界で、現実とのつながりはよくわかりませんが、私の思いは、リニアが走るのには良いでしょう。でも開通前と開通後の豊丘を思いやる時、心が痛みます。豊丘村の景観も変えることがないよう、また、豊丘村民や子供たちが安心して生活して行くことのできる村であってほしいと望むものです。

リニアへの道と定まる山峡に肩を寄せ合い、点る灯るむ

# シリーズ「元氣な高齢者」④

## 亭主関白を支えた妻の智恵

久保田武司さん  
九十一歳  
中部二在住



堀越の農家で二人兄弟の次男として大正十五年に生まれました。兄とは二歳違いであり仲が良かった。父親は病弱で、武司さんが幼少の頃に戦地帰りで自宅療養中に亡くなった。青年学校を卒業、地方事務所に勤めていた叔父さんの世話により、十七歳で叔父さんと一緒に満州に渡り満鉄に勤めた。職場は飛行場で、大学卒業の人と一緒に、約四年間に亘り主に工事監督を行なった。やがて終戦となり日本へ引き上げるための列車でのこと。ソ連軍の侵攻を察し

とつきの判断で列車の進行方向と逆方向へ逃げ、命がけで祖国へたどり着くことができた。帰国後は叔父の世話により営林署へ勤めることとなった。奥地の大乗坊で同僚約二十人と寝食を共にした。造林部署での山の管理、具体的には広大な土地を歩き回り薬剤散布、伐採、植林などを計画的に行なうために図面化するなどが仕事であった。奥さんのアヤ子さんとは八歳違い、親が従兄弟同士の間柄で、結婚したのは武司さんが三十歳の時であった。まったくの初対面であり、結婚してすぐに仕事場の大乗坊へ入った。河野の賑やかな所で育ったアヤ子さんにとっては想像も出来

なかつた所での結婚生活となり、当初は途方に暮れたものだったが、六軒が連なる団地では連帯感が強く、寂しさを紛らわすことができた。業務を終えてからは同僚と酒席を設けることが多く、武司さんはこのほか酒を好んだ。その間二人の子供を授かり、その都度、河野まで徒歩で降りてきた。そんな時、雨降りの日に熊に遭遇するというハプニング（今だからこその言葉）で肝を冷やしたこともあった。

こうして三十年近くの長きを大乗坊で過ごした後、現在地に自宅を建て、次の勤務地の遠山へ、定年退職までの五年間を一時期間近くかけてオートバイで通った。武司さんの回りでは、酒が過ぎて若くして亡くなる同僚もいた。このことを気にかけていた武司さんは七十歳代後半で脳梗塞を患ったが、発見が早く素早い対処で入院だけで事なきを得たのは幸運であった。これを機に酒を断ち更にタバコも辞め、以後健康には人一倍気を遣っている。

武司さんは結婚当初から亭主関白で、一度決めたら耳を貸さないところがあり、アヤ子さんを悩ませたが、素直に従うのが夫婦円満の秘訣との方針を貫いている。組織は福利厚生が充実しており、二人で全国各地の保養所を利用したり、郵便局の積立を活用しての旅行で全国を巡ることができ、楽しい思い出となっている。退職後はそれまでと全く異なる仕事に就いたが、馴染みずらな期間で辞めてしまった。畑仕事は好まなかつたこともあり、以降は自宅に留まることが多かった。元々趣味らしい趣味を持たず仕事一筋であったが、新しい生活を送りたい立ち、同年代の人達の輪に加わり、ゲートボール、マレットゴルフに興じた。

松川町に長男が、駒ヶ根市に長女が住んでおり、二人とも頻りに来てくれ、健康を気遣ってくれるのが何よりも嬉しい。

食へ物に好き嫌いはなく、『ほほえみ』に週2日通い健康を維持している。聴力にやや難があるが、メガネ無しで新聞、雑誌を読むことが出来るなど、現在でも元気でいられるのは、家族を始め周囲の人達の支えがあつてこそと感謝している。

文責 桐崎 長一

# 教育委員会事務局長交代

新教育委員会事務局長  
熊谷 透



四月の人事異動により教育委員会事務局長としてお世話になることになりました。熊谷透と申します。教育委員会での仕事は初めてになりますし、公民館について

も右も左もわからない状況です。あらためて調べてみますと社会教育法という法律に「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」とありました。関係の皆様には「迷惑を多々おかけすると思いますがご



前教育委員会事務局長  
武田 徹

指導を頂きながら、この目的を念頭に置きつつ、微力ではあります。少しでもお役に立てたらと考えています。ですのでよろしくお願い致します。

四月一日付の人事異動により、教育委員会事務局長から環境課長となりました。二十数年ぶりに事務局長として教育委員会に異動となり、わずか一年間ではありましたが、多くの村民の皆さまに協力いただき、学校教育・社会教育・社会体育等事業を進めることができました。大変お世話になりました。

昨年一年は、何もわらないまま計画された事業をこなして来ましたが、二十四時間ソフトや第三十回駅伝大会など第一回からかわっていた大会など、なつかしく参加してきました。



# 集い楽しむやぶ公民館に

## 平成三十年度主な公民館事業

### 文化事業

#### 公民館学習会

健康に楽しく、をモットーに十回の講座を開設します。(五月〜三月)

#### 日本語教室

百名を超える外国籍住民のための日本語習得を支援します。(五月〜二月)

#### 時事問題セミナー

今年は女性が語る時事問題として三人の講師を招きます。(六月〜七月)

#### 心理学講座(新)

ストレスの多い現代を乗り切るためのヒントを学びます。(六月〜七月)

#### 音楽コンサート

ソプラノ歌手を招いての楽しいコンサートです。(七月)

#### 人形劇豊丘公演

子どもから大人まで大人気の人形劇団ひとみ座による「東海道中膝栗毛」の巻。(八月十二日)

#### 武田信玄狼煙上げ

戦国時代の通信手段であつた狼煙を飯伊から諏訪までリレーします。(八月)

#### 公民館まつり

三遊亭金時師匠による人情斬をお楽しみに。(九月)

#### 文化祭作品展

とよおかまつりに協賛して開催します。(十一月)

#### 親子セミナー

保育園児、小学生の親子を対象とした体験型セミナーを年三回開催します。(六月〜七月)

#### 成人式

平成三十年四月二日から平成十一年四月一日生まれの方が対象です。(二月三日)

#### 夜間ソフトバレーボール大会

(七月〜九月)

#### 分館対抗球技大会

野球、ソフトボール、ソフトバレーボールの競技をお盆に開催します。(八月十五日)

#### 二十四時間ソフトボール大会

三十回記念の大会です。今からチームづくりの準備を。(八月二十五、二十六日)

#### 豊丘村駅伝大会

三十一回目の大会です。(十一月二十三日)

#### 冬季レクリエーション大会

(二月)

#### 公民館まつり

公民館グループの発表です。(二月)

#### 体育スポーツ事業

村民ゴルフ大会 二十一回目の大会を高森CCで開催します。(六月五日)

#### ゲートボール大会

(六月)



豊丘村駅伝大会

# 吉田裕さん 県体協から表彰

このたび、河野在住の吉田裕さんに、長野県体育協会から表彰状が贈られました。三月二十六日、長野県庁において平成二十九年度長野県スポーツ振興功績者表彰の授与式が行われ、阿部守一会長より表彰状を受け取りました。このスポーツ振興功績者表彰は、長年にわたりスポーツの振興に貢献された個人や団体に対し贈られるもので、二十九年度は、個人に三十三名と、六団体に贈られました。

豊丘村の体育協会理事長として、村の体育振興に務める傍ら、下伊那郡体育協会の副理事長を五年、理事長を七年務められ、現在もその役を担っています。今回は、このように長年スポーツ関係の役員を務め、社会体育に貢献した方々に贈られる有功賞を受賞しました。受賞の報告に村教育委員会を訪れた吉田さんには、寺沢宜勝教育長より表彰の伝達が行われ、また、長年の功績を称え、共々、今後のスポーツ人口の拡大と大型複合アリーナの実現に向けて励ましの言葉が贈られました。



平成29年度 長野県スポーツ振興功績者表彰式

# こちら資料館 曾我五郎十郎を捜しています

仇討ちではありません。江戸末期、神稲から坂下(岐阜県中津川市)の造り酒屋・曾我家(井織屋)に婿養子に入った片桐八右衛門の四男・五郎十郎という人の関係者(実家)を坂下の方々が探しています。来館された方のお話では、この五郎十郎翁、たいそうなお大尽だったようで、明治の廃藩置県の折、地元の高嶺山(二六〇町歩)を領主から私費で買い取り、そこへ檜を植えて数年後に山ごと坂下村に寄付し

たそうです。ところが、明治末、不景気の煽りで当時経営していた銀行が倒産。失意の内に五郎十郎翁は他界。一家は離散して行方知れずとなってしまいました。それから三〇年余、戦後の混乱期、坂下村の復興を全面的に支えたのは「高嶺山」でした。翁が植林して八〇年、成長した檜が村を救ってくれたのです。坂下村では、五郎十郎翁

を村の恩人とし感謝すべく頌徳碑を建て親族を捜しました。そして、一人だけ生き残っていた翁の孫嫁を見つけて出年金を与えて手厚く保護しました。翁を顕彰する催しは現在も毎年行われているそうです。豊丘の出身者が他村で尊敬されているという事実は本村の誇りでもあります。しかし、五郎十郎の出自に関しては冒頭に述べたこと以



外何も分かっていません。どんな小さなことでも結構です。手掛かりになりそうなことがありましたら資料館唐澤までお願いします。(資料館主任 唐澤武彦)

## 平成30年度成人講座 時事問題セミナー “女性が語る時事問題！”

6月8日(金)

「これからの社会保障と 私たちにできること」



NHK解説委員 飯野奈津子氏  
私たちの暮らしを支える社会保障制度はこれからどう変わろうとしているのか。超高齢社会の処方箋を考えてみます。

6月27日(水)

「今こそ憲法を考えると」



東京新聞論説委員 佐藤直子氏  
憲法は私たちの生活にどんな役割を果たしてきたのか。主権者として、身近にある憲法を今、考えます。

7月6日(金)

「目まぐるしく動く 東アジアの国際関係」



敬愛大学教授・放送大学客員教授 近亮子氏  
アメリカの影響力と「中華民族の偉大な復興」とのせめぎ合いの中にある東アジアの歴史とこれからの考えます。

テーマは仮題。いずれも午後7時から。会場はゆめあるて大ホール。聴講無料

# とよおか100年前 27

『豊丘村民話集』より

## 過ぎし日の体験

武田 寛

(前号のつづき)

その二 青白い火の玉  
これは昭和の初期、その頃は今のようには有線電話の公衆電話だのという通信機関のない頃でしたので、一寸の用事でも出歩かなければなりません。夏の夜の宵の口、所用で家を出て間もなく、宵闇の切山沢(地名)の下の方か

ら提灯の明るさ位で、青白い火がフラフラと上がってきます。道のある辺より火の位置が高いのと、火の色が異なっているのが変だ？と思つて対岸の路に立ち止まって見ると、人が駆けてくるくらいの速さで、しかも道路より数メートル高い所を、ボツとした青白い火の玉が上下に揺れながら上がってくるではありませんか。じつと見ていると次第に上がってきて、カーブした洞の方を北の方に曲がって見えなくなりました。

その三 魂の来訪  
終戦しばらく経ってから、昭和二十七年、八年頃でしたらうか。夜の十時頃、みな床について間もなくでした。私はウトウトと少しまどろんだでしょうか。まだ熟睡はしていませんでした。

当時、私の家の出入り口の戸は車戸のかなり荒い音のする戸でした。誰かがゴロゴロと戸を開けた音にハッと目覚め誰か家のものが外へ出て行ったかと思つて、しばらく経りましたが、誰も入ってくる気配がないので、起きて行ってみました。たしかに戸を開けた音を聞いたと思つたのに、戸は開いていませんでした。不思議なこともあるものだと思ひ、翌朝、家のもの

文責 壬生雅穂

(豊丘村民話集・第巻輯(昭和五十一年)より)

# ~シリーズ~ 豊丘の自然

No.173

## キボシアシナガバチ (スズメバチ科)



「春ばて」なる言葉を目にして慌てて広辞苑を開いてみた。「夏ばて」は出ていたが、出ていない。

「四季折々」こそ、日本らしいのに、このところの気温は夏と冬が交互にやっけてきている。人間は、その都度、それなりに対応しているが、自然界の動植物は大変だろう。「三寒四温」で、あつてほしい。

さて、今月の主人公の

「春ばて」なる言葉を目にして慌てて広辞苑を開いてみた。「夏ばて」は出ていたが、出ていない。

「四季折々」こそ、日本らしいのに、このところの気温は夏と冬が交互にやっけてきている。人間は、その都度、それなりに対応しているが、自然界の動植物は大変だろう。「三寒四温」で、あつてほしい。

さて、今月の主人公の

キボシアシナガバチは、今、どうしているだろう。きつと迷っていることだろう。

春を感じて羽化したツマキチョウ、ミヤマセセリ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、スジグロシロチョウは、さながら、「しまった」と思っているにちがいない。この寒さ

は、初めての経験だから。

(山田 栞)

四月は伊那谷が大いに賑わう季節、とくに古木の多い下伊那では多くのカメラマンが押しよせる有名な古桜が数多く点在するため、どこに行ってもカメラのオンパレードなのだ。しかし山奥の無名の桜は今もって知られていないことから、桜マニアが目の色変えて探しまわるほど貴重なのだ。

長沢地区よりさらに上の秘境とも言える地域に『大満沢』がある。ここに人知れず咲く大きな(樹高二十



豊丘が最北端と言われるミヤマトサミズキ

《豊丘川柳クラブ豊柳会》

▼課題「歩」久保ひろし 選

お互いに相手を庇い歩いた道 西元 峯子  
背筋ピンやる気を出して歩き出す 小澤 凛  
立ち話じっと待ってる万歩計 市沢 照子  
打開への一歩勇気を振りしぼる 原 美風

軸吟：歩道橋渡る人影見えぬ街

▼課題「茶」互 選

卓袱台を囲む茶などは今むかし 山本 義彦  
野良で飲むお茶のひととき弾む声 桃沢 健介  
滔滔と与党質問茶番劇 福沢 勝美  
茶にするか後は無言の老夫婦 林 桃子

▼自由吟 桃沢健介 選

死ぬ事は眼と鼻の先でも生きる 吉川 燎  
進歩する医学に託す癌治療 安田 喜子  
三世帯各々に皆付度し 久保ひろし

軸吟：公文書改ざん指示しシッポ切る

# 30年度公民館学習会

## 年間計画

回	月日	内容	講師
1	5月17日(木)	開講式 「童謡唱歌・抒情歌春～夏」	県童謡唱歌を歌う会会長 清水正則先生
2	6月12日(火)	バスハイク (八ヶ岳～サクランボ狩り)	
3	7月18日(水)	「からだと脳を使って健康づくり」	南信教育事務所 飯田事務所 吉澤高志先生
4	8月20日(月)	「戦争から私に繋がる歴史」	大橋春美さん
5	9月21日(金) 9月26日(水)	とよおかマルシェの見学 part 1 part 2	高木信康支配人
6	10月23日(火)	「目で見る 心で感じる 歌の世界」	手話ダンスアーティスト MIWA (深澤美和さん)
7	11月30日(金)	「仏の知恵を暮らしに生かす part 2」 ～終活に向けて～	天台宗瑞瑞寺住職 瀧本慈宗氏
8	1月9日(水)	「楽しく学ぼう人権基礎講座」	南信教育事務所 飯田事務所 塚越智英先生
9	2月6日(水)	「認知症を地域で支えるために」 ～認知症サポーター養成講座～	豊丘村認知症 キャラバンメイト
10	3月5日(火)	「生涯青春～関心・感動・感謝～」 閉講式～茶話会	鋤柄郁夫先生

◆場 所 豊丘村交流学習センターゆめあて  
◆学習時間 午後1時20分から3時まで

第5回9月学習会は、2回に分けて行います。ご都合の良い方へご参加ください。午前10時30分～ゆめあてへ移動～とよおかマルシェにてお食事(実費)、お買い物です。詳細は、後日ご連絡いたします。

お問い合わせ：公民館 35-9066 担当 原

### 四月中旬以降が見ごろとなる枝垂桜



大満沢までの曲がりくねった山道の沿道には、春を代表するツツジや植物が数多く見られ、中でも珍しい花に『ミヤマトサミズキ』があることを忘れてはならない。この花は村の宝花四つうちの一つ、日本最北端に咲く可憐な花としても知られている。いつまでも残し伝えたい豊丘の自然を大切にすることが今の自分達にできる唯一の仕事だ。

写真と文/宮下正弘



第12記

### 開墾の名残を留める末は大樹の一本枝垂

ている姿を見て、公民館はまさに「人と人がつながる拠点だ」と感じました。人と人がつながり、時には地域と地域がつながって事業を完成させる。一つの事業が終わるたびに私は、達成感や充実感を参加者の皆様と共有し、次回への活力とすることができました。この二年間の経験と住民の皆様とのつながりは、私の大きな財産となりました。公民館が、人づくり地域づくりの拠点として益々発展していくことを期待し、退任のあいさつとさせていただきます。

組の乾きに春の兆しあり  
春光の風にふくらむ緋衣の袖  
黄梅や師との語らひ青春譜  
早春や日の満ちくれば句ひ立つ  
春うらら上手に類よせ犬散歩  
春の水素手にすくえば日ははじく  
前山の足踏みみたび春の雪  
残り柿食べつくし立つ北帰行  
吉兆を占うことも御神渡り  
村境へ列成してゆく神送り  
雛の日や山菜料理溢れをり  
脇役を心がけをり犬ふぐり  
天竜川の渦巻く流れ春兆す  
網走の水泥もぐる姫鶴どち

磯部セツ子  
田中 静  
片桐 洋子  
森田 恵子  
三島 保子  
下平 玲子  
三島 里子  
木下 眞水  
松岡 照子  
宮下 公  
宮下 純子  
林 恵美子  
丸山 時子  
北原 昭子

# 俳句 短歌

《短歌会 夢あるて》

信号機たった一つの村だった時が移りて五つとなりぬ 筒井 恵子  
ビニールで覆われ育つ法蓮草茎はなよなよビタミンありしや 松尾ヒサコ  
春求め石垣島をひと巡り梯姑みつけてスマホかまえる 松下 泰見  
えんどうの苗を届けて逝きし友白き蕾よ貴女に似たり 福澤貴美恵  
数円の値上がり憂ふ民あれば辞して退職金受くる官あり 大原真由美  
飲み過ぎや喰べすぎ風邪ひきわが得意今年は初春より妻に変わり 富永 博道

《あしたば短歌会》

武生より児童らの飛ばせし風船の絆はつづく三十五年 壬生 千春  
学習会余興の落語聞く友と今かいまかと開演を待つ 大倉 知江  
白梅の一輪一輪ほころびて春告げる朝計報の届く 北澤 秀子  
早朝にニュース伝えるキャスターの声も明るく春呼ぶネクターイ 毛涯百合子  
下萌えの映の若草畔径ゆ はつかに伝ふ春の嘆き 福澤 亀人